

議会だより **ふたば**

第121号
平成29年12月

発行：福島県双葉町議会
 編集：双葉町議会報編集委員会
 〒974-8212
 福島県いわき市東田町二丁目19番地の4
 ☎0246-84-5200（代表）



相馬流山踊り保存会

いわき大交流フェスタ2017



ふたば茶亭



いわきまごころ双葉会

いわき市21世紀の森公園 ～平成29年10月28日～

主 な 内 容

平成29年第3回定例会

- ・このようなことが決まりました……………P2～5
- ・一般質問……………P6～11

第3回臨時会・議会のうごき……………P12



平成29年第3回議会定例会は、9月7日から14日までの8日間の日程で開かれました。

平成28年度決算の認定をはじめ、条例の改正、補正予算などの議案が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。

内容は次のとおりです。

第 3 回 定 例 会 9月7日～14日

条例の改正・規約変更・表彰同意

●双葉町情報公開条例の一部改正

「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」の一部改正に伴い、改正後の同法の内容と整合するよう関係条文の整備を行う必要があるため。

●双葉町個人情報保護条例の一部改正

（上記情報公開条例と同様の改正）

●職員の育児休業等に関する条例の一部改正

「地方公務員の育児休業等に関する法律等」の一部改正に伴い、職員の育児休業の再取得が可能な特別の事情等の規定を追加するもの。

●双葉町重度心身障がい者医療費の給付に関する条例の一部改正

規定内の引用法律名及び適用条項が改正されたことから、関係条文の整備をするための改正。

●双葉町地方広域市町村圏組合規約の一部変更

「障害者自立支援法」が「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に改正されたことから、双葉町地方広域市町村圏組合の共同処理する事務を変更するもの。

●双葉町特別功労表彰の同意

双葉町統計調査員として、昭和40年から長年にわたり国勢調査をはじめとする各種統計調査に尽力された山田地区の「渡部一美氏」を双葉町表彰条例の規定に基づき表彰するため、議会の同意を求めるもの。

●双葉町議会情報公開条例の一部改正（議員発議）

（町情報公開条例と同様の改正）

土地の取得

双葉町共同墓地整備事業用地として、双葉町大字長塚字寺内前地内の土地6,457.11㎡を取得するため。

人 事

双葉町教育委員会委員



山本 真理子 さん（下条）

任期：平成29年10月1日
～平成33年9月30日

主 な 補 正 予 算

商 工 費



双葉町の祭り・イベント事業補助金

12万円

総 務 費



双葉駅自由通路等整備負担金

2,994万円

議 員 発 議

「全国森林環境税」の創設に関する意見書

我が国の地球温暖化については、2020年度及び2020年以降の温室効果ガス削減目標が国際的に約束されているが、その達成のためには、とりわけ森林吸収源対策の推進が不可欠となっている。

しかしながら、森林が多く所在する山村地域の市町村においては、木材の価格の低迷や林業従事者の高齢化・後継者不足に加え、急速な人口減少など、厳しい情勢にあるほか、市町村が、森林吸収源対策及び担い手の育成等山村対策に主体的に取り組むための恒久的・安定的な財源が大幅に不足している。

このような中、政府与党は、『平成29年度税制改正大綱』において、「市町村が主体となって実施する森林整備等に必要な財源を充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税(仮称)の創設に向けて、地方公共団体の意見を踏まえながら、具体的な仕組み等について総合的に検討し、平成30年度税制改正において結論を得る」との方針を示した。

もとより、山村地域の市町村による森林吸収源対策の推進や安定した雇用の場の確保などの取り組みは、地球温暖化防止のみならず、国土の保全や地方創生等にもつながるものであり、そのための市町村の財源の強化は喫緊の課題である。

よって本町議会は、下記の制度創設についての実現を強く求めるものである。

記

平成29年度税制改正大綱において、「市町村が主体となって実施する森林整備等に必要な財源を充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税(仮称)の創設」に関し、「平成30年度税制改正において結論を得る」と明記されたことから、森林・林業・山村対策の抜本的強化をはかるため、「全国森林環境税」の早期導入を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年9月14日

福島県双葉町議会

提出先

内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、農林水産大臣、環境大臣、経済産業大臣 衆議院議長、参議院議長

9 月定例会の採決状況

件 名	議決結果
双葉町情報公開条例の一部改正について	原案可決
双葉町個人情報保護条例の一部改正について	原案可決
職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決
双葉町重度心身障がい者医療費の給付に関する条例の一部改正について	原案可決
双葉町地方広域市町村圏組合規約の一部変更について	原案可決
双葉町特別功労表彰の同意を求めることについて	原案同意
平成 2 9 年度双葉町一般会計補正予算 (第 3 号) 総額 2 2 8 億 2 5 3 0 万円	原案可決
平成 2 9 年度双葉町国民健康保険特別会計補正予算 (第 1 号) 総額 1 6 億 5 7 0 2 万 3 千円	原案可決
平成 2 9 年度双葉町公共下水道事業特別会計補正予算 (第 2 号) 総額 2 億 6 1 4 9 万 5 千円	原案可決
平成 2 9 年度双葉町介護保険特別会計補正予算 (第 1 号) 総額 1 1 億 4 8 9 4 万 9 千円	原案可決
平成 2 9 年度双葉町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 1 号) 総額 3 5 4 7 万 8 千円	原案可決
平成 2 8 年度双葉町一般会計決算の認定について	原案認定
平成 2 8 年度双葉町国民健康保険特別会計決算の認定について	原案認定
平成 2 8 年度双葉町公有林整備事業特別会計決算の認定について	原案認定
平成 2 8 年度双葉町公共下水道事業特別会計決算の認定について	原案認定
平成 2 8 年度双葉町工業団地造成事業特別会計決算の認定について	原案認定
平成 2 8 年度双葉町介護保険特別会計決算の認定について	原案認定
平成 2 8 年度双葉町後期高齢者医療特別会計決算の認定について	原案認定
双葉町教育委員会委員の任命について	原案同意
土地の取得について	原案可決
双葉町議会情報公開条例の一部改正について	原案可決
「全国森林環境税」の創設に関する意見書案	原案可決

平成28年度決算

【一般会計・特別会計決算】

歳入	139億7,580万3,329円
歳出	131億6,333万8,720円
差引	8億1,246万4,609円

平成28年度決算は上記のとおり認定されました。

詳しい内容は、「広報ふたば11月号」4～6ページをご覧ください。

双葉町一般会計・ 特別会計歳入歳出決算 及び基金運用状況に 関する意見書



石川代表監査委員

【総合審査意見】

平成28年度双葉町一般会計並びに特別会計の審査については、予算執行状況は適正と認められました。

一般会計並びに特別会計について、歳入決算総額は、前年度に比べ25億8,552万8,953円(22.7%)の増、歳出決算総額は、24億8,970万2,892円(23.3%)の増となっています。不納欠損額については、一般会計、特別会計、あわせて4万900円、収入未済額は7億7,420万3,647円です。

財政健全化指標のうち、実質公債費比率は9.8%(3ヵ年平均)で、早期健全化基準の25%を大幅に下回り、前年度より2.8ポイント改善しています。

基金は、前年度より5億7,253万7,389円増加し、現在高は559億1,950万7,121円となっています。後年度の財政負担軽減のため、今後も適切かつ効率的な運用に努めていただきたい。

町税については、個人・法人町民税及び軽自動車税の未納が見受けられます。公平負担の原則のもと、徴収率の向上に努めるとともに、積極的な財源確保に引き続き留意されたい。

東日本大震災と福島第一原子力発電所事故から6年が過ぎました。避難生活の長期化とともに、高齢者世帯も増加しています。引き続き町民の生活に寄り添った支援の継続が望まれます。8月21日には「双葉町特定復興再生拠点区域復興再生計画」の申請がなされており、国の認定後は除染やインフラ整備等、町内の復興拠点の実現に向けて様々な取り組みが進められていくものと思われます。

平成29年度も復興関連の予算が多く計上されております。依存財源であることを踏まえ、経費削減並びに適正な予算執行と運営に取り組んでいただきたい。

以上、申し上げます、平成28年度の決算審査にかかる意見とします。

平成29年9月

双葉町監査委員 石川 雄彦
双葉町監査委員 清川 泰弘

議員 5 名が質問

羽山 君子 議員

1. 特定復興再生拠点区域
復興再生計画について
2. 東電賠償について
3. 避難指示解除等について
4. イノシシ等の有害動物について

菅野 博紀 議員

1. 補償・賠償について
2. 避難生活について
3. 双葉町復興まちづくりについて
4. 中間貯蔵施設について

石田 翼 議員

1. 復興再生と世代を超えた
町民の絆と帰属意識について
2. 「町民の翼」構想について

尾形 彰宏 議員

1. 福島県復興公営住宅について
2. 復興計画における
太陽光発電設置について

高萩 文孝 議員

1. 「双葉町・特定復興再生拠点区域
復興再生計画」の実行について
2. JR 双葉駅改良と
東西自由通路の整備について
3. 汚染土壌輸送車両の
通行ゲートについて
4. 中間貯蔵施設本格施設について

一般質問

町政を

問う



【一般質問とは】

議員が町の行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行の状況及び将来に対する方針等について所信をたずぬものです。

羽山君子議員



特定復興再生拠点区域復興再生計画

問 計画の総事業費はいくらか。

答 復興及び再生を推進するための総合計画であり、総事業費を示すことは困難である。

質問

計画の総事業費はいくらか。

町長

復興及び再生を推進するために必要な取り組みを、事業主体の官民等と問わず盛り込んだ総合計画であり、いわゆる事業計画ではありませんので、総事業費という形でお示しすることは困難ですが、区域内の除染・解体は全額国費で行われるとともに、区域内で行うインフラ復旧事業等については、国の福島再生加速化交付金の活用が可能となっています。

質問

住民の帰還者数及び帰還率の見込みは。

町長

目標人口を二千〜三千人としていた二次計画の目標から、特定復興再生拠点区域復興再生計画では目標を更に固く見積もり、避難指示の解除から5年後の目標人口を二千人と設定しています。

東電賠償

質問

町民の避難が続いている現状において、精神的損害のうち、移住を余儀なくされた損害分の妥当性について東電に実態説明を求めるべきと考えますが、町長の見解は。

町長

町内の避難指示区域間における賠償格差が生じていないことについては一定の妥当性があると考えられる一方、事故から6年以上が経過してもなお町域の大部分が帰還困難区域に指定されており、他町村の状況と相違していることを踏まえ、町としましては、実態に即した賠償を実施するよう、国・東京電力に対して引き続き粘り強く求めて参りたいと考えています。

避難指示解除

質問

区域別避難指示解除の時期は。

町長

まずはJR双葉駅周辺の一部区域と町内の避難指示解除準備区域である浜野・両竹地区について、平成31年度末頃までの先行的な避難指示解除を目指すとともに、特定復興再生拠点区域全体については、計画の認定から約5年が経過する平成34年の春頃までの避難指示解除を目指し、帰還環境整備に向けた取り組みを進めて参りたいと考えています。

質問

町内での役場機能の再開時期は。

町長

すでに役場機能の移転が始まっている周辺町村の例を参考にしながら、町内での役場機能の再開を、復興の時系列に合わせ、適切かつ段階的に進

められるよう、事務的な検討を始めたところであり、今後、方向性の整理ができましたら、改めて御報告させていただきます。

質問

固定資産税の課税時期は。

町長

固定資産税自体は市町村税ではありますが、震災復興特別交付税による補填措置との関係もありますので、今後、避難指示解除の目標時期を踏まえつつ、その在り方について検討を進めて参りたいと考えています。

質問

特定復興再生拠点整備区域以外の荒廃した家屋や田畑の扱いについての考えは。

町長

今回国に認定を申請した「特定復興再生拠点区域」は、あくまでも将来的な町内全域の帰還環境整備に向けた第一歩であり、町としては、事業の進捗に応じ、帰還困難区

イノシシ等有害動物

質問

町内におけるイノシシ等の被害の実態や、今後の対策は。

町長

町ではイノシシ等野生動物の捕獲の取り組みを平成25年10月から開始し、環境省・福島県・双葉町が連携して対処していますが、個体数が年々増加している傾向にあります。今年度は、イノシシやハクビシン・アライグマ捕獲用の箱わなの設置箇所を増やし、被害状況を確認しながら、箱わなの設置を実施しているところです。今後も、イノシシ等野生動物の捕獲の取り組みを続け、個体数調整に努めて参ります。

補償・賠償



菅野博紀議員

問

現在、中間指針で進められている補償・賠償だが、それで本当にいいのか。

答

双葉町の特殊な事情を踏まえ、被害実態に即した賠償の実施と生活再建支援策の実施を求め続けている。

質問

補償・賠償については、町として国・東京電力に求めていくと答弁しているが、今のところ何も進んでいない。現在、中間指針で進められている補償・賠償だがそれで本当にいいのか。

町長

原子力損害賠償紛争審査会が策定している「東京電力福島第一、第二原子力発電所事故による原子力損害の範囲の判定等に関する中間指針」は、原子力損害賠償に係る共通の最低基準を示したものであると認識しています。

これまで町では、双葉町の特殊な事情を踏まえ、被害実態に即した賠償の実施と、町民への生活再建支援策の充実を国や東京電力に対して求め続けています。

7月に関係省庁に対し、「被害実態に即した賠償の実施と長期避難が続く双葉町民の生活再建支援」を含む要望を行い、8月には、大熊町とともに、「町民の居住実態に

補償・賠償

質問

避難生活の長期化に伴い、様々な問題や課題が出ている。借上げ住宅や高速道路無料化に関しては、多くの町民が延長を望んでいるが、町長の考えは。

町長

居住環境確保のために仮設住宅、借上住宅の提供を行っています。平成31年3月末までの1年間の供用延長が決定しました。

高速道路無料化についても国土交通省より平成32年3月末まで延長になる方針が出されました。

これも、町議会と共に各方面に要望活動を行った結果だと思っています。

復興公営住宅、家賃賠償についても、町の特殊事情を踏まえ、被害実態に即した賠償を実施するよう、引き続き国、東京電力に対して強く要望していく考えです。

同様に、医療費の一部負担免除の継続についても今後国、県に強く要望していく考えです。

避難生活の長期化に伴い、様々な問題や課題が出ている。借上げ住宅や高速道路無料化に関しては、多くの町民が延長を望んでいるが、町長の考えは。



復興まちづくり

質問

町民一人一人の復興とはどのようなことが、町

の復興とはどのように考えるのか。

町長

「町民一人一人の復興」とは、「町民一人一人の生活再建の実現」と「町民のきずなの維持・発展ふるさとへの思いを繋ぐ」ことを目指すもの、「町の復興」とは、「ふるさとへの帰還を果たし、魅力ある町の再興」を目指すものと整理し、そのための具体的な取り組みを、二次計画及びその実施計画の中でとりまとめています。

質問

発電所の収束作業とは、関連がないのか。

町長

安全かつ着実な廃炉は、町の復興と町への帰還を果たしていく上での大前提であると考えています。その引き続きの推進を、国や東京電力に対して強く求め続けて参ります。

中間貯蔵施設

質問

今後の工程と本格搬入の受け入れ条件等は

町長

今年秋ごろから土壌貯蔵施設の供用開始が予定されています。土壌貯蔵施設は、既に試運転を行っている受入・分別施設とともに主要な施設と位置付けられており、輸送された除染土壌が直接搬入され、分別の上、貯蔵施設において貯蔵されるという一連の処理が行われることから、これら2施設の供用開始により、除染土壌の中間貯蔵事業が進んでいくこととなります。

町としては、施設の早期稼働は、早期の保管場解消にもつながることから、町民の安全・安心のためにも、環境省に対して早期の施設の整備を求めていくとともに、地権者に寄り添った丁寧な対応を行うよう引き続き環境省に求めて参ります。

石田

翼議員



復興再生と世代を超えた町民の絆と帰属意識

問
答

町民が一時的に滞在できる施設の整備は。

J R 駅前のコミュニティセンターを町民向け休憩施設として先行的に整備を進め、平成28年9月その供用が再開されている。

質問

再生拠点認定後、世代を超えた町民の絆と帰属意識を促すためにも、ソフト面の構想についても並行して進めるべきと思う。町民が一時的に滞在できる施設の整備は。

町長

J R 駅前のコミュニティセンターを町民向け休憩施設として先行的に整備を進め、平成28年9月その供用が再開されています。中野地区復興産業拠点内に町が整備を行うこととしている「産業交流センター」についても、一時帰宅中の町民が休憩や交流をすることができると考えておりますので、ご指摘を踏まえ、今後とも引き続き検討を進めてまいります。

質問

四季折々の花々や町の花「桜」の植栽ができるゾーンの設置は。

町長

「双葉町復興まちづくり計画（第二次）」にお

いて、「再生可能エネルギー・農業再生モデルゾーン」や「耕作再開モデルゾーン」を設けるとともに、先日国に認定を申請した「双葉町・特定復興再生拠点区域復興再生計画」においても、「住民の憩いの場とする」ともに、景観形成を図ることにより、復興のシンボルとする」ということで、前田川沿岸等の河川施設について、桜等の植栽等を行うこととしております。

質問

花いっぱい運動推進のための委員会の設置や県コンクールへの参加は。

町長

町内の避難指示区域間帰還後、震災前のように例えば国道6号沿線をはじめ町内の花壇の整備や県コンクールへの参加など、緑化事業に積極的な支援を行い、双葉町が美しい花々で彩られた町となるよう、ご指摘も踏まえ、検討を進めて参ります。



震災前の国道6号線久保前交差点の花壇

「町民の翼」構想

質問

福島県では、福島空港からの沖縄路線復活に取り組んでいる。県と呼応して従来列車による町民号に代わるものとして「町民の翼」の可能性を検討する考えがあるか。

町長

町民の絆の向上と双葉町への帰属意識を高めるための方策の一つとして、「町民の翼」を実施することは有効な手段であると考えますが、町民の皆さんが全国に避難されている現状を踏まえると、参加者の避難先から福島空港までの交通手段や安全の確保、緊急時の対応など、配慮すべき点が多々あり、問題点を整理する必要がありますと考えております。さらに、実施にあたっては、賛否も含めて様々なご意見があると考えており、十分な検討を行い判断したいと考えております。

福島県復興公営住宅

問
答

8月末現時点での双葉町民の入居実績は。

入居決定者を含め、福島市、郡山市、白河市、いわき市、南相馬市など8市町村35か所の復興公営住宅で、316世帯、500人となっている。

尾形彰宏議員



質問

8月21日、福島県復興公営住宅の第5期募集を持って新規団地の募集が最終となるとの広報があった。空き住戸の募集については決定次第お知らせすることであったが、8月末現時点での双葉町民の入居実績と今後の予定は。

町長

福島県が整備する復興公営住宅の双葉町民の8月末現在における入居実績は、入居決定者を含め、福島市、郡山市、白河市、いわき市、南相馬市など8市町村、35か所の復興公営住宅で、316世帯、500人となっております。

新規団地の募集としては、ご指摘のように第5期募集が最後になりますが、今後の予定としては、福島県では準備が整い次第、今月中にも空き住戸に対する募集を行う予定と伺っております。

質問

入居に際して、さらにはその後の生活の支援にはどのようなものがあるか。

町長

これまでの復興公営住宅の入居者の状況を見ますと、高齢者世帯、独居高齢者世帯の示す割合が大きいことから、福島県をはじめ関係市町村と連携して、百歳体操や体力

測定、健康相談事業や家庭訪問などの健康維持管理支援を実施しております。

さらに、関係機関による健康支援会議を開催して情報共有を図り、入居者の支援体制の構築を行っております。今後とも関係機関と連携し、町民が安心して生活できるよう、健康維持と自立に向けた生活支援を行って参ります。



整備が進む勿来酒井復興公営住宅

復興計画における太陽光発電

質問

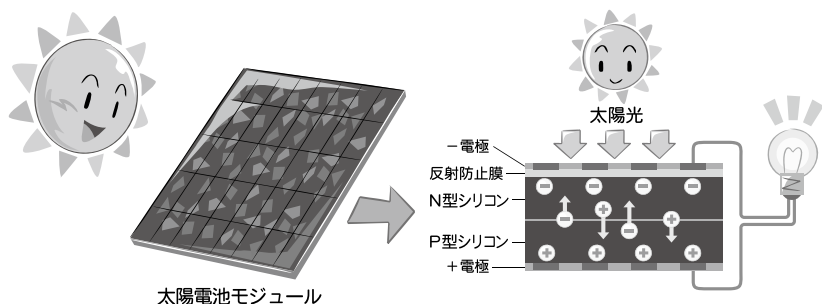
再生可能エネルギー発電拠点の整備に取り組むとされているが、それ以外の地域について、近隣町村での実績を参考にし、新たに双葉町独自の条例なり方針なり、今後の復興計画の工程プロセスを準備検討してはどうか。

町長

町としても、双葉町内の土地について、従前の土地利用をすぐに再開することは容易ではない中、大型太陽光発電事業、いわゆるメガソーラーは有効な土地利用方策の一つであると考えており、メガソーラー事業自体は、地権者と事業者の合意に基づき、民・民で事業化が進むものではありませんが、「双葉町復興まちづくり計画(第二次)」においても、議員ご指摘の「再生可能エネルギー・農業再生モデルゾーン」を設定する等の取り組み

を行っております。

町独自の条例等については、固定価格買取制度が存在すること等により、メガソーラーは事業性が高く、周辺町村においても、一般家庭が導入する場合と異なり、特段の独自支援は行っていないと聞いておりますが、議員ご指摘の景観保全・利害調整の問題を含め、今後、必要性を見ながら検討して参ります。



高萩文孝議員



双葉町・特定復興再生拠点区域復興再生計画

問

駅周辺区域の避難指示解除や、特定復興再生拠点区域全域の避難指示解除を目指す上では、あまり時間がないように思うが。

答

早期の帰還環境整備に向けて全力で取り組む。

質問

駅周辺区域の避難指示解除や、特定復興再生拠点区域全域の避難指示解除を目指す上では、あまり時間がないように思う。町は今後、具体的にいつどのような取り組みを行うのか。

町長

町では、「双葉町・特定復興再生拠点区域復興再生計画」について、8月21日に国に認定を申請致しました。

今年度において、町内の新たな除染・解体に速やかに着手するため、環境省を始めとする関係者と町の間で、事務的な事前協議をすでに始めるとともに、計画に記載された取り組みを確実に推進するため、計画の認定に携わった、国・県・町等の実務者による事務的な協議体の設置についても検討を進めています。

町として、早期の帰還環境整備に向けて全力で取り組みますので、引き続き、ご理解をお願いします。

JR双葉駅改良と東西自由通路

質問

町としてJR双葉駅の整備の方向性についてどのような考えを持っているのか。

町長

双葉駅については、平成31年度末のJR常磐線の全線開通に合わせた供用開始を目指し、橋上駅として再整備する方向で進めて参りたいと考えています。

双葉町復興まちづくり計画（第二次）では、駅の西側に「新たな生活の場」を早期に整備するとともに、駅の東側の「既成市街地の再生」を図ることとしておりますので、町の新たな中心市街地がJR常磐線によって分断されることのないよう、24時間通行可能な線路上空の東西自由通路の整備を進めるとともに、その中心となる駅施設を線路上空に移すことにより、駅を中心とするコンパクトなまちづくりの推進と、

町の賑わい創出を目指します。

今後、JR東日本と詳細な協議を進め、各種協定を締結した上で、具体的な事業に着手して参りたいと考えています。

汚染土壌輸送車両の通行ゲート

質問

中間貯蔵施設環境安全委員会において、双葉工区へ輸送する車両が通行するゲートを、一時帰宅者と分離するよう見直し提案され、環境省は町に相談していくとの回答であったが、このことについて、町はどのように考えているか。

町長

当町の中間貯蔵施設への輸送は、現在、牛踏ゲートを経由して実施されております。先日開催された中間貯蔵施設環境安全委員会での提案は、一時帰宅者と輸送車両が使用するゲートを分離すること、その観点から中間貯蔵施設の工事車両が使

用している双葉厚生病院前のゲートの活用を検討してはどうかというものでした。

町としても、一時帰宅者の安全確保が最優先事項であると考えており、今後の輸送量増大を踏まえてどのように対応するのが最善であるかを、環境省とともに検討していきたいと考えています。

中間貯蔵施設

質問

今後の中間貯蔵事業に関する町の方針は。

町長

中間貯蔵事業に関する町の方針は当初から変わっておりません。平成27年1月に行った建設受入の判断は正に苦渋の判断でしたが、町の判断を地権者の皆様に押し付けるものではありません。そのため、地権者の皆様におかれましては、環境省の説明をよくお聞きいただき、十分納得した上で契約いただきたいと考え

て参りましたし、国に対しては、地権者に寄り添って丁寧な説明を行うよう、これまでも申し入れて参りました。なお、地権者支援策として弁護士による相談窓口業務も実施して参りました。

また、施設の整備、稼働及び輸送においては、安全・安心の確保が大前提であると同時に、地域の理解を得て進められるべきと考えており、このための取り組みとして、環境省、県及び大熊町、並びに双葉町で締結した「中間貯蔵施設の周辺地域の安全確保等に関する協定書」に基づく取り扱いが遵守されるよう、確認して参りました。

町としましては、今後につきましても、これまでと同様の方針により、中間貯蔵事業に関わって参ります。

第3回臨時会 10月25日

- 【専決】平成29年度一般会計補正予算（第4号）⇒ 原案承認
歳入歳出それぞれ 1, 7 1 4 万 1 千円を追加し、総額 2 2 8 億 4, 2 4 4 万 1 千円
選挙管理委員会費 ⇒ 衆議院議員総選挙に係る経費
- 工事請負契約の締結について ⇒ 原案可決
双葉町共同墓地造成工事
- 業務委託契約の締結について ⇒ 原案可決
中野地区復興産業拠点整備事業（実施設計・施工）
- 備品購入契約の締結について ⇒ 原案可決
職員用パソコンデータバックアップ機器購入
- 土地の取得について ⇒ 原案可決
中野地区復興産業拠点整備事業用地取得



町内長塚字寺内前に建設される
共同墓地のイメージ図

中央要望・東京電力要求活動

平成 29 年 9 月 19 日

【復興庁・経済産業・文部科学・厚生労働・国土交通省】

1. 町民の被害実態に即した賠償の実施と生活再建等
（賠償の実施と家賃賠償の延長）
2. 避難者に対する高速道路の無料措置の町への帰還
が可能となるまでの延長
3. 安心できる医療・福祉政策の継続・実施
4. 町商工業者の事業再開に係る支援等

【東京電力ホールディングス(株)】

福島第一原子力発電所の廃炉、原子力損害賠償の完全
実施及び復旧・復興への協力に関する要求書



編 集 後 記

今年もあとわずかになってまいりました。
第121号は、秋のイベントを表紙にし
ました。
また、実りの秋にふさわしく、記事も豊
富で読み応えがあったかと思えます。
今後とも議会広報をよろしく願いた
します。

【編集委員会】

委員長 菅野博紀
副委員長 石田彰宏
委員 尾形泰弘
委員 清川弘

議会のうごき

9月

7日～14日 平成29年第3回定例会
7日 議会全員協議会
議員発議

中央要望・東京電力要求活動
議案調査

14日 議会全員協議会

中間貯蔵施設事業の実施状況

18日 平成29年度敬老会

中央要望・東京電力要求活動

27日 双葉地方議長会議

ふたばワールド2017 in とみおか

10月

3日 双葉郡出身県職員との意見交換会

8日 オリンピックデー・フェスタ in ふたば

ふたばスポーツフェスティバル

24日 双葉郡並びに浪江町

戦没者追悼式・慰霊祭

25日 平成29年第3回臨時会